

2024.2.6 TUE – 7 WED

京都芸術劇場 春秋座

一般公開 定員80名(無料) / 予約制

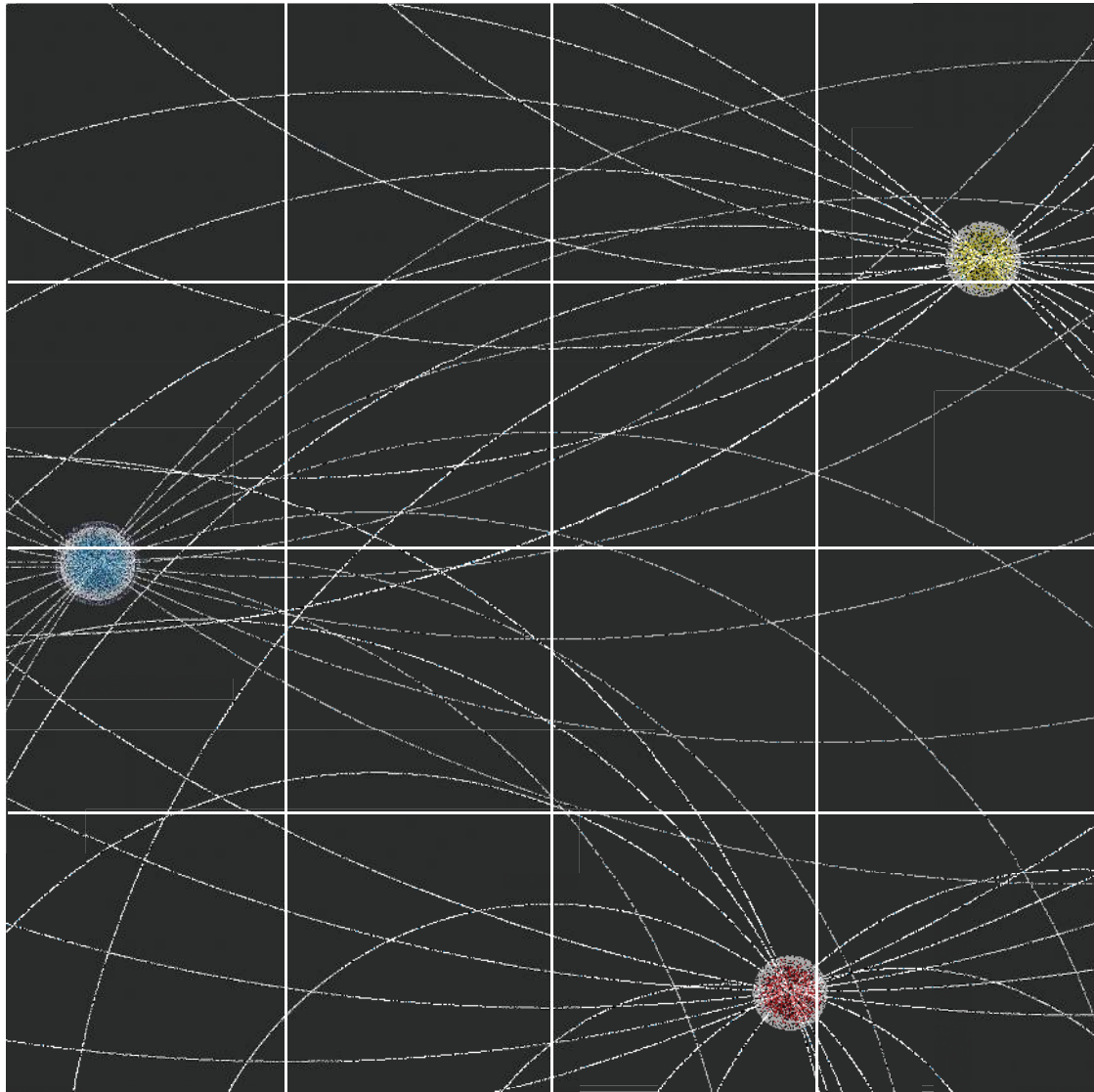
- 6 10:00 開演 基調講演 Christopher Plummer (オンライン)  
9:30 開場 意見交換、質疑応答
- 13:30 開演 演劇公演におけるIAの利用実例\_石丸 耕一氏(オンライン)  
13:00 開場 録音素材を使用した試聴会  
意見交換会
- 7 13:30 開演 バンド演奏の試聴会  
13:00 開場 意見交換会

主催 学校法人瓜生山学園 京都芸術大学  
舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点

研究代表者 大久保 歩  
舞台音響家 / 京都芸術大学 舞台芸術学科教授

2023年度テーマ研究Ⅱ  
「次世代舞台音響  
『イマーシブオーディオ』  
の可能性について」

イマーシブオーディオ(IA)とは、「没入感の高いオーディオ」という意。全方位から音が聞こえる環境を創造する。



バンド演奏

Trois Miles

Tommy(Tb). 松井優樹(Fl). RISA(p)

基調講演ゲストスピーカー

Christopher Plummer (オンライン)

音響デザイナー システムエンジニア / ミシガン工科大学美術 舞台芸術学部教授

2024.2.6 TUE - 7 WED

京都芸術劇場 春秋座

一般公開 定員80名(無料) / 予約制

予約はこちら

<https://onl.bz/jSPPWki>



2023年度テーマ研究Ⅱ

「次世代舞台音響

『イマーシブオーディオ』

の可能性について」

### 研究趣旨・目的

劇場に於ける音響表現の手法は、ステレオ再生から様々な空間音響技術へと、文字通りパラダイムシフトの過程にある。コンサートやミュージカル、演劇に於ける舞台音響では、観客が全方位からの音を聞くことができるイマーシブオーディオ(以下IA)など、最先端の音響技術は日々進化を遂げている。海外、特に北米では、ミュージカルやオペラでIAを使用した公演が散見されるが、日本国内では、将来的には舞台芸術分野における音響の必須アイテムになることは確実とされながらも、まだまだその実例が少ないのが現状である。本研究は、既に米国で実際にIAを導入している音響専門家の体験的所見を参考にしながら、春秋座においてミュージカル公演や演劇公演などの音源を使用し、現在多くのメーカーや研究機関が開発しているIA用のオーディオプロセッサーやソフトウェアの中から、(FLUX::社製 Spat Revolution)を選択して試聴し、その表現力の特長や特徴を調査、研究する。また、まだまだ一般的ではないこの次世代の音響システムを、研究協力者をはじめとする多くのプロの音響家、舞台芸術の実演家が体験、試聴し、その導入から舞台芸術作品への実用化の可能性を模索する。

### 問合せ先

京都芸術大学 共同利用・共同研究拠点事務局 担当: 新里  
 舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点  
 606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116  
 tel. 075-791-9144 fax. 075-791-9438  
<https://k-pac.org/openlab/>

### 研究代表者

大久保 歩 舞台音響家 / 京都芸術大学 舞台芸術学科教授

### 研究協力者 (50音順)

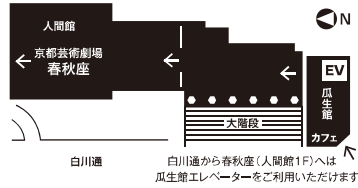
- 石丸 耕一 公財) 東京都歴史文化財団(東京芸術劇場) / サウンド・ディレクター  
 公社) 日本舞台音響家協会 副理事長
- 押谷 征仁 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 舞台技術部 部長
- 金子 彰宏 兵庫県立芸術文化センター 公社) 日本舞台音響家協会技術研究委員長  
 一社) 日本音響家協会西日本支部長
- 土肥 昌史 公財) 京都市音楽芸術文化振興財団(ロームシアター京都)  
 公社) 日本舞台音響家協会 研修育成委員長
- 原 英夫 京都芸術大学舞台芸術学科客員教授 劇団四季
- 半澤 公一 有) イノベーション 舞台音響家 PROSOUND誌執筆者
- 山口 哲 株) メディア・インテグレーション FLUX::製品国内販売代理店

### 基調講演ゲストスピーカー

Christopher Plummer (オンライン)  
 音響デザイナー、システムエンジニア /  
 ミシガン工科大学美術・舞台芸術学部教授

### 出演バンド

Trois Miles  
 Tommy(Tb). 松井優樹(FI). RISA(p)



- 叡山電車「茶山・京都芸術大学駅」下車  
 徒歩約10分
- 京都市バス 204・5・3系統  
 「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学」下車  
 ※駐車場はございませんので、お車・バイク  
 でのご来場はお断りします。

### 主催

学校法人瓜生山学園 京都芸術大学  
 舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点

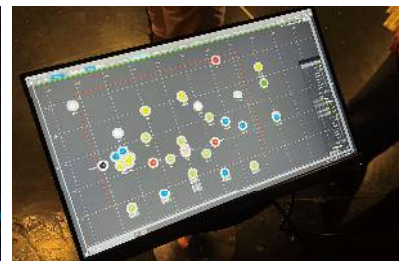


### イマーシブオーディオ(IA)とは

「没入感の高いオーディオ」という意味で、「立体音響」「3Dサラウンド」「Special Audio」なども、基本的に全て同義語。舞台芸術領域においては、IAを目的としたスピーカーを舞台上や客席内の劇場空間に配置し、再生される音源にオーディオプロセッサーやPCソフトを使用して特殊な音響処理を行うことにより、360度、全方位から音が聞こえるイマーシブオーディオの環境を創造する。IAには、主に3種類(チャンネル・ベース, オブジェクト・ベース, シーン・ベース)の「方法論」があるが、今回は劇場空間に設置するスピーカーの数や、メーカーに左右されない方式である、オブジェクト・ベースに主眼を置いた研究とする。オブジェクト・ベースを使用した代表的なPCソフトとしては、FLUX::社製 Spat Revolutionリアルタイム3Dオーディオミキシングソフトウェアなどが挙げられる。



IAを使用した公演  
 チェルフィッシュ x 藤倉大 with クラウドフォルム・ウィーン  
 『リビングルームのメタモルフォーシス』  
 ©Nurith Wagner-Strauss



ライブハウスでの  
 d&b Soundscapeの楽器位置設定画面